

令和2年度 第4回四万十町国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

日 時：令和3年3月3日（水） 13時56分～14時34分

場 所：四万十町役場 西庁舎3階防災対策室

出 席：船村委員、太田委員、伊賀委員、武田委員、牧野委員、瀬川委員、菊池委員

欠 席：澤田委員、入吉委員

事務局：森副町長、本山町民課長、松田税務課長、左脇健康福祉課副課長、岡崎町民課主査

傍聴者：0名

◆議事次第

1. 開会
2. 開会挨拶
3. 議事録署名委員の指名（⇒太田委員、牧野委員を指名）
4. 議題
 - （1）令和2年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第4号について【諮問】
 - （2）令和3年度四万十町国民健康保険事業特別会計当初予算について【諮問】
 - （3）その他
5. 閉会

◆議事結果

森副町長が諮問書を読み上げ、船村会長へ手渡す。

（1）令和2年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第4号について【諮問】

【会 長】

それでは、議案第1号「令和2年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第4号」について議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

～町民課担当から「令和2年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算第4号」について説明～

【会 長】

事務局より説明がありました。これにつきまして質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

【武田委員】

特定健診委託料の減額というのは、受診者が少なかったということか。

【健康福祉課副課長】

毎年、JMC（ジェイエムシー）という民間の会社に委託をしていたが、コロナの関係で今年度は委託をせず、町独自で事業を行ったため減額となっている。

【武田委員】

来年度以降は、委託はしないということか。

【健康福祉課副課長】

令和3年度については別の業者へ委託するようにしている。

【武田委員】

委託しなくてもできるのに、なぜ委託するのか。

【健康福祉課副課長】

国の補助があり、その補助金を利用して委託するようにしている。

【森副町長】

さきほど説明もあったが、今年度についてはコロナの影響もあり、業者と十分な打ち合わせもできないと判断し委託をしなかったが、当町については特定健診受診率も低いため、未受診者対策など役場の手の届かないところを業者に委託をして受診率を少しでも上げていきたいという思いがある。

【菊池委員】

業者へ委託した時の受診率と委託しなかった時の受診率の比較はどうか。

【健康福祉課副課長】

コロナの影響もあると思うが、委託をしなかった今年度は受診率が落ちている。

【会 長】

他に質疑はありませんか。

【全委員】

ありません。

(2) 令和3年度四万十町国民健康保険事業特別会計当初予算について【諮問】

【会 長】

つきまして、議案第2号「令和3年度四万十町国民健康保険事業特別会計当初予算」について議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

～町民課担当から「令和3年度四万十町国民健康保険事業特別会計当初予算」について説明～

【会 長】

事務局より説明がありました。これにつきまして質疑を行いたいと思います。質疑はありませんか。

【事務局】

補足説明として、令和3年度に基金を6,700万円取り崩すよう予算を立てているが、令和2年度末での基金残高は約1億8,900万円となる予定である。基金はあと3、4年のうちに無くなる見込みであり、国保税の増額も検討しないといけませんが、現在、県の方で高知県での国保料(税)の統一化を図ろうという動きもあり、令和5年度頃から段階的に統一化を始める案も出ている。県の方も市町村と議論しながら慎重に進めていきたいという方針なので、また情報が入り次第、委員さんにも共有していきたいと思う。

【税務課長】

国保税については、令和3年度の調定額は減額になっているが、人口が減っているというのもあるし、コロナの影響で所得もそれほど上がらないだろうという予測を立てたものである。

【武田委員】

県で統一の税率になるという話があったが、四万十町の税率は上がってしまうのか。

【事務局】

四万十町は県下でも税率が低い方で、現状よりは上がる見込みである。

【森副町長】

先ほどの説明でもあったが、基金が令和5年度頃に枯渇する見込みであるが、県が税率の統一化をしていく時期と重なる状況となりそうである。税率引き上げということが視野に入ってくると市町村との調整も必要であり、後ろへずれこんでいく可能性もあるのかなと思っているところである。

【伊賀委員】

診療所への繰出金が大幅に減額になっているのはなぜか。

【事務局】

令和2年度では、大正・十和両診療所の運営費の赤字補填と電子カルテの更新費用のため、繰出金の額が大きくなっていましたが、令和3年度では電子カルテ更新費用が無くなり、運営費の補填分のみとなったため、減額となっている。

【森副町長】

大正・十和両診療所については年々患者は減っているが、地域にとってはなくてはならない診療所であるため、健全な運営に努めていきたいと思う。

【会 長】

地元の人がどれくらい診療所を利用しているかわかるか。

【森副町長】

正確な数字はわからないが、実感として大正診療所に1日に100人患者がいるとしたら、十和からは10人程度、大正診療所へ行っていると思う。

十和の人は宇和島の方の病院へ行っている人も多いし、合併してからは窪川の病院へ行っている人も多い。

【会 長】

赤字が増えないためにも、できるだけ地元の病院へ行ってもらえるように努めてもらいたいと思う。

【太田委員】

マイナンバーカードに保険証の機能がつくのはいつからか。

【事務局】

都心部では、令和3年3月1日から運用されているが、高知県ではまだ時間がかかるのではないかと思う。マイナンバーカードを取得して、さらに登録もしないといけないので、高齢者の方には難しい気もする。

【町民課長】

病院側もシステムを導入しないといけないので、まだまだこれからだと思う。

【太田委員】

マイナンバーカードを常に持っておかないといけないということか。

【武田委員】

カードと顔認証を一緒に識別するため、カードなしではダメだと思う。

医療センター等大きいところはすでにシステムが導入されているようだが、診療所等の小さいところはシステムの導入には補助が出るため費用はかからないが、維持費がかかってしまうし、まだそれほど利用者もいないと思うので導入していない。

【会 長】

他に質疑はありませんか。

【全委員】

ありません。

【会 長】

なければ、議案第1号、第2号の諮問事項について承認を取りたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

【全委員】

～挙手～

【会 長】

ありがとうございました。全委員の挙手によりまして、議案第1号、第2号は承認となりました。

(3) その他

【会 長】

それでは、議案第3号「その他」について何かありませんか。

【事務局】

ありません。

【森副町長】

今回で4名の委員の任期が満了となる。また広報等で新たな委員の募集を周知する。

国保財政は今後も厳しい状況が続くが、地域の中で声掛け等していただき、特定健診の受診率向上等に協力いただけたらと思う。

【会長】

それではこれで令和2年度第4回四万十町国民健康保険運営協議会を終了します。ありがとうございました。(14時34分散会)

署名人

堀野 剛光

署名人

太田 泉隆